



日本海

日々の様子は学校
ホームページから！

「藤塚小ブログ」は連日更新中！



ある中学生の姿

校長 山田 耕世

11月16日（土）の閉校記念式典。実行委員の方々をはじめ、保護者・地域の方々、関係機関の方々のおかげで無事に開催することができました。これまでの準備なども含めて、ご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

さて、閉校記念式典当日、式典が終了し、実行委員の方々と職員で会場の片付けを行っていた時のことです。ある中学生が大人に混じりながら、黙々と会場のパイプ椅子や長机などを片付けていました。会場には300脚ぐらいのパイプ椅子やたくさんの長机、紅白幕などがありました。その中学生のおかげもあって、30分もかからないうちに後片付けを終えることができました。



実は、その中学生は、半年前に行った「閉校記念 藤塚浜大運動会」の時も、運動会終了後、保護者・地域の方々、職員などの大人に混じりながら、爽やかな表情でテントの片付けなどの力仕事を友達と行っていました。

誰から頼まれた訳ではなく、大人に混じりながら、母校の行事の後片付けを進んで行う中学生の姿を見て、「子どもは親の背中を見て育つ」という言葉について考えさせられました。

「子どもは親の背中を見て育つ」という言葉の意味は、子どもは親の行動や態度を見て学ぶという意味です。きっとこの中学生も、いつのころか、よきモデルとなった大人、もしくは先輩などの行動や態度を見て学んだのではないかと推察します。

子どもは意識することなく、毎日の生活の中で、様々な人からいろいろなことを吸収しています。そのため、私たち大人がいくら子どもに立派な言葉をかけても、私たち大人の行動や態度が、いい加減なものであるならば説得力をもたないということです。

8月下旬に開催された紫雲寺地区の合同学校保健委員会で、長岡市教育委員（一般財団法人インターネット協会認定 インターネット利用アドバイザー）の大久保 真紀 様から、SNSに関わる講演をしていただきました。その中で、「私たち大人が時間や場を気にせずスマホなどをいじっていた場合、子どもに対して『もうゲームはやめて勉強しなさい！』という言葉はいくらかけても子どもには伝わらない」「子どもに守ってほしいことに対して、私たち大人自身が守っている姿を子どもに見せることが大事」というお話がありました。

私たち大人も人間ですから、すべてが完璧ではないかもしれません。人それぞれ、苦手な部分はあるでしょう。私自身も苦手な部分がたくさんあります。しかしながら、大切なことは、「子どもと共に成長しよう」という気持ちを持ちながら、私たち大人が、今できるベストな姿を子どもに見せることではないかと考えます。

冒頭紹介しました中学生の姿をとおして、私自身も、自分自身の行動や態度を見つめ直していきたいと強く感じた次第です。ぜひ、未来を担う子どもたちのために、一緒に考えていきませんか。